

関西電力の電気料金再値上げ申請に係る意見、質問

2015 年 2 月 25 日

全大阪消費者団体連絡会

事務局長 飯田秀男

1. 関西電力の 2015 年度の計画、効率化計画の全体像はまだ示されていません。そのことが議論の不透明性を高めています。関西電力は、2015 年度の計画、効率化計画を 4 月までにではなく、電気料金審査専門小委員会の査定案が出る前に示すべきです。
2. 関西電力は、効率化によって得た原資を料金の値上げ幅圧縮（値下げ）に活用すべきです。関西電力は電源構成変分認可制度にかかる費目の効率化額を 130 億円織り込んでいるとしていますが、それ以外の費用においても効率化で得た原資を料金の値上げ幅圧縮（値下げ）に活用すると明言できませんか。関西電力は、効率化の深掘り成果を財務体質の回復、料金負担の軽減に活用するとしています。効率化の深掘り成果を財務体質の回復、料金負担の軽減にどちらをどの程度活用するのですか。
3. 関西電力は、料金の値上げ幅圧縮（値下げ）をするために資産売却を具体的に考えるべきです。第 90 期有価証券報告書によれば、関西電力は短期投資（譲渡性預金）2300 億円、長期投資 1785 億円（うち、株式 1045 億円、出資証券 31 億円）を保有しています。これらを含めた資産処分によって得た費用削減効果を料金の値上げ幅圧縮（値下げ）に活用すべきであり、その計画を明らかにすべきです。